

生活を支援する 仙台北部道路

- 仙台北部道路は、全線開通により富谷ICから仙台北IC間において所要時間が80分短縮、事故の起こりやすさが並行する国道4号の約3%程度と渋滞・事故リスクの回避により、内陸部と湾岸部の通勤・通学の利便性向上を支援しています。
- また、内陸部と湾岸部の時間信頼性や走行安定性の向上により、食料品や石油製品、乳酸菌飲料、紙原料の輸送など、東北の日常生活を支える製品の安定供給を支援しています。

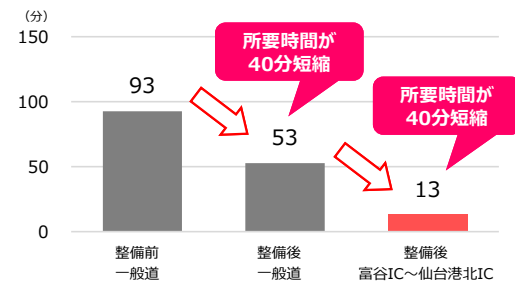


通勤の利便性が向上

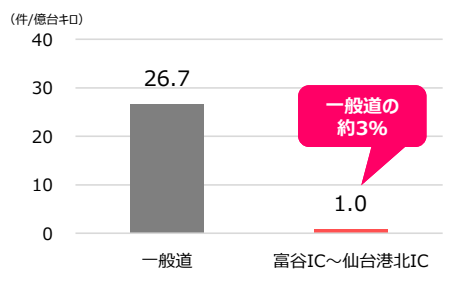
富谷IC～仙台北IC間の渋滞・事故リスクの回避



【所要時間】



【死傷事故率】



※整備前：1999年、整備後：2021年の混雑時（7時～9時、17時～19時）所要時間
出典：全国道路・街路交通情勢調査（1999年、2021年）

出典：NEXCO東日本調べ、イタルデータ（2018年～2021年）

食料品の安定輸送を支援

■ 冷凍食品の輸送支援



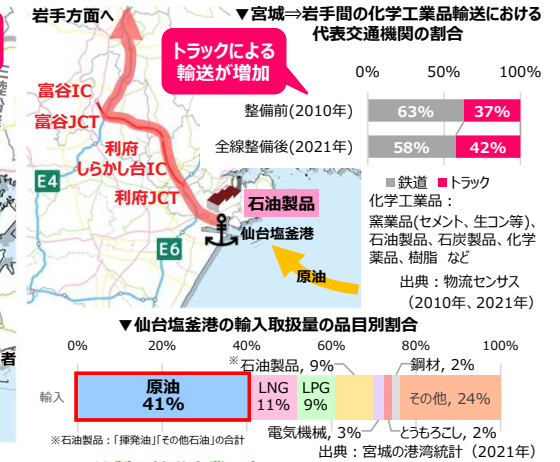
食品配送企業の声

客先への納品時間は、周辺で待機をさせないよう事前予約受付の順番に予約時間の前後30分と決められており、時間通りに配送することが必要。確実に時間の読める仙台北部道路を使うことで、客先納品時間に合わせた輸送ができる。加えて、ドライバーの労働時間超過が抑えられ、働き方改革の観点からも高速道路利用は必至。

出典：2023年企業ヒアリング調査

工業製品の安定供給を支援

■ 工業製品の輸送支援



石油製品輸送企業の声

石油製品を各地へ輸送する際には、定時性や安全性を考慮し高速道路利用が指示されている。岩手方面への輸送では仙台北部道路を利用して、仙台北部道路があることで、石油製品の安全かつ安定した供給が可能となっている

出典：2023年企業ヒアリング調査

日用品や清涼飲料の安定供給を支援

■ 清涼飲料の輸送支援



清涼飲料輸送企業の声

製品の輸送では、振動も品質に影響するため、信号がなく安定して走行できる高速道路の利用が必須となる。2024年問題もあり、ドライバーの労働時間管理の観点からも、輸送時間が読めることは重要。仙台北部道路があることで、日々の食品の安定輸送や円滑な運行管理が可能となり、大変助かっている。

出典：2023年企業ヒアリング調査

■ 紙原料の輸送支援



製紙企業の声

東日本大震災時に工場が稼働停止し、顧客を損失した経験から、客先への原料調達を果たす観点や、2024年問題のドライバー労働時間管理の観点から、定時出発・定時到着による安定物流が必須。時間を読んで確実に客先へ搬送することが必要で、高速道路の利用は欠かせません。

出典：2023年企業ヒアリング調査